

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

# 水と祈り

古くから人々は水の恵みに感謝し清らかな水に神が宿ると信じてきました。滋賀県の各地には水にまつわる様々な祈りの文化が根付いています。



## 神の棲む島「竹生島」

琵琶湖に3つある島の一つ、竹生島。古くから「神の棲む島」として人々の信仰を集め、パワースポットであると信じられてきました。周囲2キロメートルあまりの無人島ですが、都久夫須麻神社と宝蔵寺には日々参拝者が訪れます。古代より琵琶湖には龍が棲むといわれ、竹生島もこのような水の神が宿る島として崇められてきました。毎年6月14日には琵琶湖の神に感謝を捧げる龍神祭が行われます。

TEL 0749-65-6521  
住所 滋賀県長浜市早崎町竹生島  
営業時間 定休日 観光船の運行時間に準ずる  
観覧料 入島料 大人400円、小人200円  
WEB [https://khabiwako.jp/spot/spot\\_12711](https://khabiwako.jp/spot/spot_12711)  
喫煙可(喫煙場所指定あり)



## 琵琶湖の入り口にある「白鬚神社」

湖の中に立つ朱塗りの大鳥居が目印の神社。早朝には鳥居の向こうから昇る朝日が湖上一面を照らし、神秘的な風景を見せてくれます。創建は約2000年前滋賀県で最も古い神社といわれ、全国に約300ある白鬚神社の総本社でもあります。「白鬚」という名前の通り延命長寿の神様であり、また道案内の神である猿田彦命(さるたひこのみこと)を祀ることから導きや開運の神としても知られています。

TEL 0740-36-1555  
住所 215 Ukawa Takashima, Shiga  
営業時間 終日参拝可能 東社務所は9:00~17:00 定休日 なし  
観覧料 無料  
WEB <http://shirahigejinja.com>



## 修行僧が琵琶湖に飛び込む「伊崎の禰飛び」

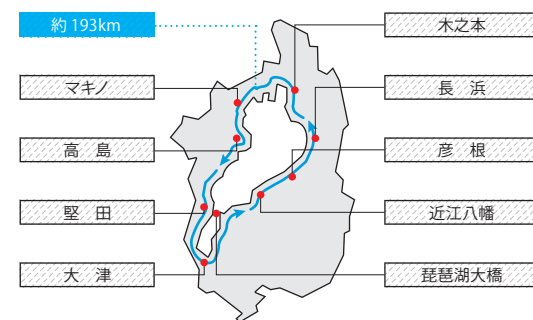
毎年8月1日に行われる仏教行事で、琵琶湖に向けて突き出すように設置された禰の先端から、約7m下の湖面に向かって修行僧が飛び込みます。一人の修行僧が禰の先端まで歩き湖に飛び込むのは、「自らの身を犠牲にして他者を救済する」という仏教における修行の姿を表しています。飛び込んだ後にまた陸に帰る行動には「再生」の意味も含まれており、伝承では1000年近く続いていた行事だといわれています。

TEL 0748-32-7828  
住所 滋賀県近江八幡市白王町1391  
開催日時 毎年8月1日 11:00~  
観覧料 無料  
WEB <http://www.isakiji.jp/>

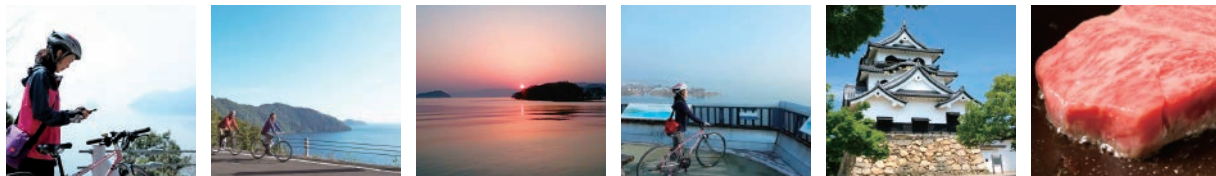
## ビワイチ ~自転車で琵琶湖をめぐる~



1周約200km琵琶湖を自転車で周遊する“ビワイチ”。自然や文化、食など、滋賀県の奥深い魅力を体感しながらゆっくりと周遊したい人や、初めての人におすすめなのがアプリ「ビワイチサイクリングナビ」です。街の日常を感じる裏道ルートやまっすぐ目的地に向かう推奨ルートなど、様々なルートを紹介するほか、県内のおすすめスポットを「食べる・観光施設・絶景」などのテーマ別で紹介し、ビワイチのいろいろな楽しみ方を提案してくれます。



## ビワイチ BEST SHOT!!



FREE volume 4

# COOL SHIGA

CULTURAL INFORMATION GUIDE

## 琵琶湖が生んだ最古の寿司

水への感謝から生まれた究極にエコな暮らし

水と祈り

イベントスケジュール



## 清らかな水が生み出す食文化

四方を囲む山々から流れる清らかな水と、豊かな自然に恵まれた土地、滋賀県。山に降った雪や雨は地中で磨かれ、川となって中央にある日本最大の湖、琵琶湖に注がれます。

その独特の地形と年間を通して湿度が高いという特徴から、滋賀県には古くから発酵の文化が根付いています。和食に欠かすことのできない醤油みそ、酒、酢はすべて発酵食品。

そして日本の代表的な料理「寿司」はかつて日本に米作りと共に伝わった「なれずし」が元だといわれています。中でも琵琶湖でとれたフナを米と塩で漬け、熟成させて作る「鮒寿司」は滋賀県の風土が生んだ珍味としてまた近年では美容と健康に良いパワーフードとして世界中で知られ始めています。

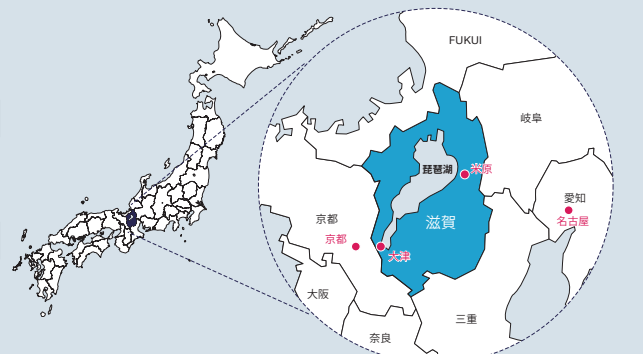
continued inside →

## 滋賀県について

日本列島のほぼ中央、古都京都の北東に位置する滋賀県。日本最大の湖「琵琶湖」を有する滋賀県では、水と共に生きる人々の知恵から生まれた独特の食文化、産業、暮らしが古くから培われてきました。豊かな水と自然が織りなす美しい風景は多くの芸術家を魅了し、また交通の要所としても栄えたこの地には、歴史ある寺社や城跡など、情緒ある町並みが大切に保存されています。

## Easy access from Kyoto!

- 新幹線**
  - JR京都駅からJR米原駅まで20分
  - 名古屋駅から米原駅まで27分
- 在来線**
  - JR京都駅からJR大津駅まで9分





# 琵琶湖が生んだ 最古の寿司

元祖  
阪本屋鮎寿司

## 1869年創業の鮎寿司の老舗

今から数百年前、この地を治めていた膳所藩お抱えの料亭「本家阪本屋」は川魚料理と鮎寿司作りを得意としていました。そして1869年、当時はまだ商品化されていなかった鮎寿司の専門店として創業したのが現在の阪本屋です。

昔ながらの風格ある建物を前に引き戸を開けると、目の前にはアユの佃煮やエビ豆、美しくスライスされた鮎寿司など、琵琶湖でとれた魚を使って作られた数々の郷土料理が並びます。店主は5代目の内田健一郎さん。

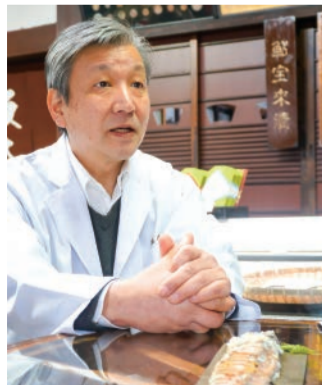
創業当時から代々受け継がれてきた配合や方法を守りながら、天然のニゴロブナと地元産の米のみを使用して鮎寿司を作り続けています。

鮎寿司は作り手によって味もレシピも異なるといわれ、通常の鮎寿司の他に1年漬けた後に米を入れ替えて再度漬け直す「老漬（おいづけ）」が楽しめるのが阪本屋の特徴です。1933年に建てられた店舗は国の有形文化財に登録されており、家族が集まる年末には地元の人々が、近年では海外からの旅行者が次々と鮎寿司を求めて訪れます。

## 発酵から生まれた独自の食文化

寿司の原型といわれる、なれずし。「寿司」の語源は「酸っぱい飯」で、米を発酵させて酸っぱくしたなれずしを意味します。それをより手軽に食べられるようにしたのが、ごはんに酢を混ぜて酸っぱくする現代の握り寿司です。なれずしは、かつて稲作と共に大陸から日本に伝わった保存食で、肉や魚などの食品を長く保存するために米に漬けて発酵させたのが始まりといわれています。当時は日本中で作られていたなれずしですが、今も残っているのはごく限られた地域のみ。滋賀県では材料となる米が豊富にあったこと、琵琶湖でとれるフナと結びついたことから鮎寿司として根付き、現代まで伝えられています。

鮎寿司の特徴は、何ととってもその匂い。しばしばブルーチーズなどと並び「世界の臭い食べ物」として紹介されますが、味も匂いも作る人や環境によって全く違うのが鮎寿司のおもしろいところ。地元滋賀県でも好き嫌いや味の好みも激しく分かれます。「鮎寿司は空気中にいる菌によって発酵が進むのでその年の気候はもちろん、置き場所やちょっとした環境の違いでひと桶ごとに味が変わります」と話すのは鮎寿司の老舗阪本屋の内田健一郎さん。「春に琵琶湖でとれたニゴロブナを塩漬にして、夏になるとごはんに漬け込む。それをお正月の家族が集まるハレの席で食べるのが昔から伝わる習慣です。半年以上漬けると乳酸菌が他の雑菌を食べしてくれるので、食中毒の心配はありません。ビタミン、カルシウムタンパク質をふんだんに含むパワーフードとしても知られており、血がきれいになって、アトピーや花粉症などのアレルギーにも良いといわれています」



伝統の味を守り続ける5代目店主の内田健一郎さん。

近年では、ニゴロブナの産卵場所となるヨシ原の減少や、外来魚の増加が鮎寿司作りにも深刻な影響を与えています。変化する環境の中で、伝統の味を守り昔と変わらない方法で作り続けることで、発酵から生まれた滋賀県独自の食文化が伝えられ続けています。

**本家阪本屋**  
TEL 077-524-2406 住所 滋賀県大津市長等1-5-21  
営業時間 9:00~18:00 定休日 日曜日 WEB <http://www.sakamotoya.biz/index.html>



昔ながらの方法で丁寧に作られた佃煮は試食も可能。



鮎寿司を作る工程の鮎

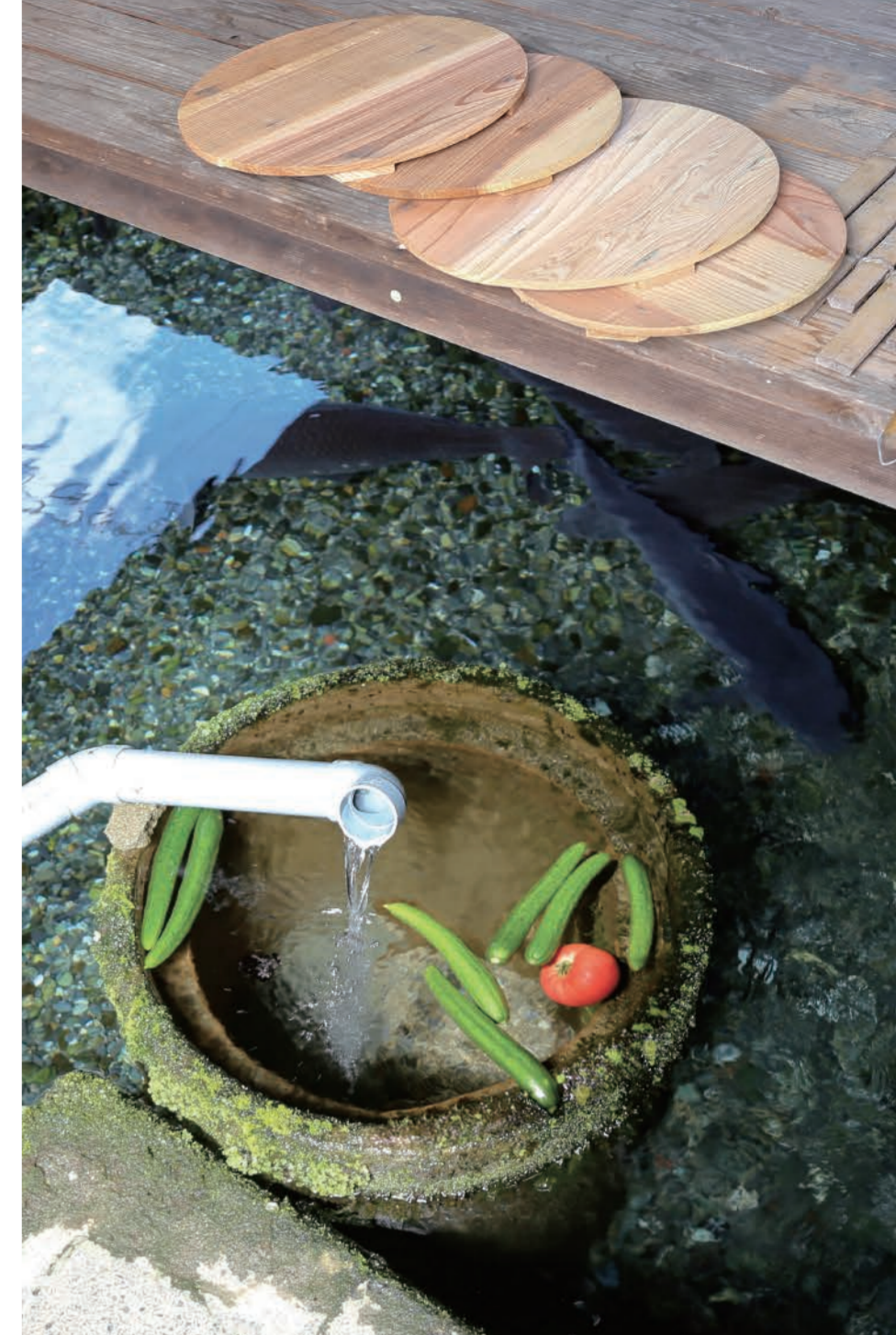


お皿に盛りだされた鮎寿司

# 水への感謝から生まれた 究極に エコな暮らし

## 湧き水と共に生きる かばたの文化

スギの焼き板張りの黒い外壁、漆喰の白壁にベンガラ塗りの赤い柱が映える古い町並みが今も残される高島市の針江地区。透明な水で満ちた水路が町中を巡るこの地域には、湧き水を生活用水として使う「かばた」という昔ながらの文化があります。湧き水の温度は年間を通して13度。各家に一つずつあるかばたで、野菜を冷やしたり、調理をしたり、食器を洗ったりするのがこの町の日常です。飼われているコイは、食器を洗って出る残飯や水中の藻を食べてくれるかばたの掃除係。かばたには水神様が祀られており、毎年元旦には若水をここからいただいて、まず神仏に供え、お雑煮を作って1年が始まります。各家のかばたは水路で繋がっているため、上流の人は次の人のことを思ってくれいな水を流す、下流の人は上流の人を信頼して流れてきた水を使うという、お互いを思いやる暮らしが昔から変わらず続けられています。



針江地区にて、かばたで冷やされている野菜。

## 自然を守り命をつなぐ 里山の暮らし



山脈からの湧き水が流れる川。針江ではこの水がコミュニティで共有され利用されている。

自然の恵みに感謝し共生する人々の暮らしは、BBCのドキュメンタリー番組『Satoyama: Japan's Secret Water Garden』で紹介され、世界的にも知られるようになりました。「里山」とは、人間の適度な介入と管理によって豊かな生態系が保たれる、人里近くにある山や森林を表す言葉です。針江で暮らす人々は、田んぼや水路に魚の通り道を作り、天ぷら油を再利用した生きものに安全な洗剤を使い、人間とさまざまな動植物が共生できる場を作ることで鮎寿司のような伝統的な食文化も絶やさずに守り続けてきました。美しい水や自然を守りながら利用し、そこで生きる命をつなぎ、自らもその循環の一部として暮らす。そんな人々の営みが、昔から今も変わらず続けられています。このような針江の暮らしを多くの人に伝えるため、現地では専属のボランティアガイドによる案内ツアーが用意されています。



針江の見学には、ガイドの同行が必須となっています。詳細は以下をご覧ください。

### 針江生水の郷委員会

住所 滋賀県高島市新旭町針江372  
メール [shozunosato@lapis.plala.or.jp](mailto:shozunosato@lapis.plala.or.jp)  
見学について お越しいただく24時間以上前にご予約ください。  
見学者1名につき1,000円の案内料金をいただきます。  
WEB <http://harie-syozu.jp/>

## 地元の漁師が営む佃煮の店「おさかな旭」



琵琶湖でとれた新鮮な魚で作る自家製の佃煮が名物。店内のショーケースにはモロコ、イサザ、アユ、ゴリなどの佃煮や、スジエビと大豆を甘辛く炊き上げたエビ豆、地元の人に人気の鮎寿司が並びます。こちらのかばたでは魚のほかに、琵琶湖で怪我をしているのを保護したという天然記念物のオオサンショウウオを見ることが出来ます。屋外に設置された蛇口では、湧き水と水道水の飲み比べが体験できます。

TEL 0740-25-3319 住所 滋賀県高島市新旭町針江345-1  
営業時間 8:00~17:00 定休日 なし



# EVENT SCHEDULE

ALL MAP



紹介した全スポットを掲載

## 2019年7月・8月・9月の滋賀県内イベントスケジュール

### 特別企画「交流と実験」

一新時代の「やきもの」をめざして



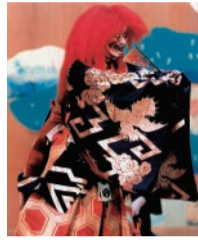
これまで53か国1200人以上のアーティストに作陶や出会いの場を提供してきた「陶芸の森」。本展では彼らの作品と言葉映像を介して「やきもの」のこれからを模索する。

**日付** 2019年6月18日(火)～9月6日(金)  
**時間** 9:30～17:00(入館は16:30まで)  
**場所** 滋賀県立陶芸の森(甲賀市信楽町勸旨2188-7)  
**料金** 500円(400円)高大生380円(300円)中学生以下無料  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
**TEL** 0748-83-0909  
**WEB** <https://www.sccp.jp>

JUN-SEP

英語看板 英語を話せるスタッフ

### 能「鶴(ぬえ)」



ユネスコ世界無形文化遺産に登録された能楽を本格的な能舞台上で鑑賞する上演会。天皇に憑き祟ろうとして退治され亡霊となった怪物「鶴」の悲しみを描く、能楽師・世阿弥作の傑作。

**日付** 2019年9月7日(土)  
**時間** 14:00～16:30(開場13:30)  
**場所** 大津市伝統芸能会館(大津市園城寺町246-24)  
**料金** 前売 S席5,500円(当日 6,000円)  
 前売 A席5,000円(当日 5,500円)  
**TEL** 077-527-5236  
**WEB** <http://www.dentogeinokaikan.net/>

SEP

### お城入門セミナー

はじめての「近江の城」



滋賀県には安土城や彦根城の他、大小さまざまな城が約1300カ所も存在する。このセミナーでは、滋賀県の歴史や文化を特徴づける城の見方や城を守る

活動をわかりやすく紹介する。

**日付** 2019年9月28日(土)  
**時間** 10:30～16:30  
**場所** ビアザ淡海(大津市におの浜1-1-20)  
**料金** 無料  
 ※電話・FAX・メールにて2日前までに事前申込(先着順)  
**TEL** 077-528-4678

SEP

### 第27回企画展示

海を忘れたサケービワマスの謎に迫るー



「びわます」は琵琶湖固有の鮭です。美味しさから琵琶湖周辺に住む人々に愛される魚です。本展では、最新の科学研究成果をもとに琵琶湖の歴史と進化の過程を紹介します。また「びわます」と人々の暮らしの歴史的関係、そして将来の持続可能な共存の問題についても示します。

**日付** 2019年7月20日(土)～11月24日(日)  
**時間** 9:30～17:00(最終入館16:30)  
**場所** 琵琶湖博物館(草津市下物町1091)  
**料金** 300円(240円)高大生240円(190円)小中生150円(120円)  
 ※( )内は20名以上の団体料金 ※常設展示観覧料別途必要  
 077-568-4811  
**TEL** 077-568-4811  
**WEB** <https://www.biawahaku.jp>

JUL-NOV

英語看板 無料Wi-Fi 英語パンフレット 英語を話せるスタッフ

### 第24回セラミック・アート・マーケット

IN陶芸の森



「作品に触れ、作家に触れる」をテーマに滋賀県内に在住・在勤の作家が集い作品の販売を行う。会場には食器や煎茶道具、植木鉢などの陶芸作品のほかガラス製品も並ぶ。

**日付** 2019年9月21日(土)～23日(月・祝)※雨天決行(荒天の場合は中止)  
**時間** 9:00～17:00(最終日は16:30まで)  
**場所** 滋賀県立陶芸の森(甲賀市信楽町勸旨2188-7)  
**料金** 無料  
**TEL** 0748-83-0909  
**WEB** <https://www.sccp.jp>

SEP

英語を話せるスタッフ

### 長浜市地域伝統大会長浜市の祭りと芸能2019



長浜市の各地に古くから伝承される多彩な伝統芸能が一堂に集まり披露される場。地域の特色が反映された、踊りや囃子、衣装や道具なども見比べることができる。

**日付** 2019年9月29日(日)  
**時間** 11:00～14:30(予定)  
**場所** 長浜市曳山博物館 南側広場(長浜市元浜町14-8)  
**料金** 無料  
**TEL** 0749-65-6510(長浜市無形民俗文化財保存活用協議会)

SEP

### 歴代天皇と近江展

ー滋賀県立琵琶湖文化館館蔵品よりー



かつて聖武天皇によって紫香楽宮が営まれるなど、天皇家と関わりが深い甲賀市。本展では歴代天皇が描いた書画や遺品、宮廷画家による

華麗な絵画などが一堂に公開される。

**日付** 2019年7月27日(土)～9/29日(日)  
**時間** 10:00～17:00  
**場所** 甲賀市土山歴史民俗資料館(甲賀市土山町北土山2230)  
**料金** 無料  
**TEL** 077-528-4672

JUL-SEP

### 滋賀近美アートのプロジェクトVOL.2

「シンビオシス」



「土地と人の共生関係」をテーマにした展覧会。高島市泰山寺野の古い長屋を舞台に滋賀県にゆかりある若手作家3名の新作を中心にした企画展を行う。

藤永覚郎《Transit(stone)》2018 画像提供: Gallery PARC 撮影: 妻生田兵吾

**日付** 2019年9月21日(土)～10月20日(日)  
**時間** 10:00～17:00  
**場所** 田中邸長屋および周辺エリア(高島市安曇川町田中4915)  
**料金** 無料 ※ワークショップへの参加は事前申込み要。  
**TEL** 077-522-2111(平日8:30～17:15)  
**WEB** <https://www.shiga-kinbi.jp/>

SEP-OCT

英語パンフレット

### ぶらっと五個荘まちあるき



歴史的景観が残る五個荘で江戸後期から大正時代の衣裳に身を包んだ近江商人時代絵巻行列が行われる。期間中は、普段公開されていない近江商人旧宅や神社仏閣などで、家宝や寺宝を展示。

**日付** 2019年9月29日(日)  
**時間** 9:30～16:00(時代絵巻行列は13:00～14:20)  
**場所** 東近江市五個荘金堂町周辺  
**料金** 無料  
**TEL** 0748-24-5662  
**WEB** <http://www.higashiomori.net/>

SEP

英語看板 無料Wi-Fi 英語パンフレット 英語を話せるスタッフ

## BIWAKO HALL EVENTS



**TEL** 077-523-7133  
**住所** 大津市打出浜15-1  
**開館時間** 10:00～19:00  
**閉館日** 火曜  
**WEB** <https://www.biwako-hall.or.jp>

|               |                          |      |
|---------------|--------------------------|------|
| 2019.07.24    | 松竹大歌舞伎                   | 中ホール |
| 2019.07.27-28 | ブッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』     | 大ホール |
| 2019.08.05-07 | 沼尻竜典オペラ指揮者セミナー V         | 大ホール |
| 2019.08.10    | 子供のためのシェイクスピア 『じゃじゃ馬ならし』 | 中ホール |
| 2019.08.29    | 気軽にクラシック19 二塚直紀 輝くテノール!  | 小ホール |
| 2019.09.07    | 大人の楽しみ方26 タブラトゥーラ        | 小ホール |
| 2019.09.14    | びわ湖ホール声楽アンサンブル第69回定期公演   | 小ホール |
| 2019.09.23    | 気軽にクラシック20 シューベルト「ます」を聴く | 小ホール |



びわ湖ホールは、国内有数の4面舞台を備えた大ホール、演劇向けの中ホールや、アットホームな小ホールを備えています。最新の設備と優れた音響、臨場感を追求した湖畔の芸術劇場からオペラ、バレエ、ミュージカル、クラシックコンサートや演劇など、多彩な感動のステージをお届けします。

びわ湖ホール公演スケジュール  
<https://www.biwako-hall.or.jp/performance/>

